

学校沿革史

- 明治6年6月15日 創立 須川私学校と称する。
" 8年3月25日 小野江小学校と改称する。
" 15年7月 初等科・中等科の修業年限6年となる。
" 20年4月 小野江簡易授業所となる。
" 22年4月 小野江尋常小学校と改称、修業年限4年となる。
" 25年4月 2カ年の補習科をおく。
" 27年10月 校舎改築（明治校舎）
" 32年4月 補習科の年限を3カ年に改正する。
" 33年5月 高等科を設置し、小野江尋常高等小学校と改称する。
" 41年4月 尋常科6カ年・高等科2カ年となる。
" 43年4月 従来豊田村・高茶屋村・鵜村の高等科児童を収容していたが、鵜村を除き他は収容しなくなる。
大正9年6月8日 校舎改築（大正校舎）
昭和8年11月14日 校地661坪に拡張する。
" 9年4月7日 4教室増築（昭和校舎）理科室・音楽室等
" 16年4月1日 小野江村国民学校と改称する。
" 22年3月31日 小野江村立小野江小学校と改称、8月まで中学校併置
" 30年3月21日 三雲村が誕生する。三雲村立小野江小学校と改称する。
" 31年3月20日 第1期工事 管理棟が落成する。
" 31年8月 第2期工事 6教室・理科室・図書室が落成する。
" 43年7月29日 プール完成
" 52年9月 音楽教室改装
" 53年5月4日 便所改造（水洗）
" 54年3月 特別支援学級教室・図書室・保健室改造
" 57年3月 屋内運動場が落成する。
" 61年4月1日 町制施行に伴い三雲町立小野江小学校と改称する。
" 61年9月1日 校舎改築工事に伴い1年・2年・3年教室・職員室・便所・仮設校舎で授業を始める。
" 61年9月13日 小野江小学校改築工事起工式
" 62年8月28日 小野江小学校新校舎落成2学期より授業開始
平成6年3月 新プール完成
" 10年8月 特別教室絨毯張り替え
" 10年10月30日 三重県教育委員会研究推進校として学校保健教育推進実践発表会を開催する。
" 14年12月 ランチルーム完成
" 17年1月 市町村合併により松阪市立小野江小学校となる。
" 17年2月 小野江幼稚園の移転により園庭と園舎の一部を譲り受ける。（プレイルーム）
" 19年4月 特別支援学級（コスモス学級）新設
" 22年11月 弟子屈小学校（北海道）との学校間交流を開始する。
" 25年8月 体育館屋根・外壁改修工事
" 26年2月 増築校舎完成（2階建て6教室）
" 29年8月 3階教室・ワークスペース間パーテーション設置
2月 学校東側擁壁・防球ネット改修工事
" 30年7月30日 北海道150年事業・子どもたちの交流事業にて北海道の11小学校
8月 児童29人職員11人が来校、6年生と交流する。
3階教室・ワークスペース間パーテーション設置
3階音楽室床張り替え、音楽準備室間仕切り設置
児童代表2名と校長で弟子屈小学校・和琴小学校を訪問し交流する。
" 30年11月 トイレ洋式化改修工事
" 31年1月10日 北海道の弟子屈町立の5小学校児童7人引率3人来校し、交流をする。
令和元年11月22日 北海道弟子屈町教育委員会及び校長会来校。児童の活動を参観する。
" 2年3月2日 新型コロナウイルス感染予防のため3月25日まで臨時休校となる。
4月15日 新型コロナウイルス感染予防のため5月17日まで臨時休校となる。
10月 新型コロナウイルス感染対策により秋に運動会を延期、県内の修学旅行を実施する。
" 3年9月 体育館照明をLED照明とし、体育倉庫を建て替える。
10月 新型コロナウイルス感染対策により県内の修学旅行を実施する。
11月 新型コロナウイルス感染対策により運動会と作品展示を合同開催する。
" 4年10月 新型コロナウイルス感染対策により奈良・伊勢志摩方面の修学旅行を実施する。
" 5年2月26日 3年ぶりに、6年生が武四郎まつりで「武四郎物語」の劇を演じる。
11月11日 小野江小学校創立150年記念文化祭を開催する。
12月15日 松阪市教育委員会指定オンライン英会話を活用した新しい英語教育研究協力校として
公開授業研究会を開催する。
" 6年11月11日
12月7日 松阪偉人顕彰団体協議会設立10周年記念「わたしたちのまちの偉人シンポジウム」で
6年生が「武四郎物語」の劇を演じる。